

明倫の里 城北

ともしび

発行・城北コミュニティ(丸亀市大手町二丁目1番20号 丸亀市中央公民館 ☎24-1392)

城北地区人口
世帯数 3,412
人口 8,079人
男 3,823人
女 4,256人
65歳以上独居者 315人
(6月1日現在)

城北コミュニティ発足

名称「明倫の里 城北」に決まる

城北コミュニティが五月十日の結成総会を経てスタートしました。(2面に関連記事) 結成総会には、代議員百五人が出席。名称を「明倫の里城北」に決めたほか、役員選出、会則承認、事業計画(案)と予算(案)の承認も行われました。

名称は三月十日の役員会で全員一致で決まったものです。事業計画については、その都度、要項をお知らせします。多数ご参加ください。城北地区のコミュニティ組織が結成されたことで、市内十二地区のすべてで組織化が完了したことになります。

いよう、地区の全員がコミュニティを盛り上げることが必要です。みなさんのご意見を反映して活動を進めます。ご協力ください。 役員の皆さんは次の通りです。(かつこ内は所属団体) 会長||細谷達則(自治会) 副会長||赤澤 俊(同)、藤田俊夫(学識経験者)、糸橋憲一(民児協)、近藤照司(自治会)、尾崎千恵子(婦人会)、

水早和夫(体協支部)▽事務局長||直井一之(同)▽会計||横山俊男(自治会)▽監事||中川正美(老人会)、大崎絢子(婦人会)▽書記||太田和(自治会)、香川照明(公民館)

新役員を選出

城北校区連合自治会

四月二十四日開催した総会で次のとおり役員が選任されました。 会長||細谷達則(再)▽副

会長||赤澤 俊(再)、常包恒夫(新)▽監事||島 清則(再)、林 繁信(新)

用地を買い足してほしい③駐車場を広くしてほしい

「ともしび」11号でもお知らせしました城北公民館建設に当たって、私たちの要望を訴える場を設けました。 四月十五日、御供所町自治会館で市側から担当部長らを迎え市の計画について説明を受けました。 当夜は活発な質疑、応答が行われ、市は十四項目に集約したようです。 ①二階建てにしてほしい②

①2階建て②用地③駐車場 市へ各種要望 城北公民館建設

これらを受けて、細谷会長らで四月二十五日、高松市香西公民館(もちろん二階建て)を視察、五月八日には公民館設置推進委員が集まって協議の結果、改めて我々の要望を市へ申し入れることを決定、五月十四日に申し入れを行いました。いずれ市の回答があると思いますが、次号で報告します。



多くの議員が出席した結成総会(市総合会館で)=CVCニュースから=

城北コミュニティ発足に当たって

「コミュニティ」。若い人た

ちには何の違和感もなく受け入れられる言葉ですが、横文字に弱い戦前

派。特に大正

生まれの私な

どは、あまり

なじめない呼

び名です。

しかし、こ

の「コミュニ

ティ」の言葉

が、日常生活

の中に溶け込

んだものにな

ることを願う

ものです。

城北コミュニ
ニティ（明倫
の里 城北）
が五月十日に
結成され、第
一步を踏み出
しました。

みんなで輪を作ろう

—— 細谷 達則（城北コミュニティ会長） ——

います。

自治会をはじめ、老人会、婦人会、民協の会など、城北地区内の各種団体がコミュニ

ティ組織の中で、一つの輪となり、頑張っていきたいと思

っています。

城北公民館も近く建設に取りかかることとなりました。

公民館完成とコミュニティ結成を丸亀市制百周年という大

きな節目の年に迎えることができたいことをお祝いしつつ、

皆さま方のご協力をお願いしてまいります。

平成10年度予算

(収入の部)

費目	金額(円)	費目	金額(円)
市からの補助金	1,575,000	市からの補助金	835,100
市民協会の収入	780,000	住民からの収入	310,000
寄附金	1,542,050	給食サービス	94,532
前期から	94,532	合計	5,136,682

(支出の部)

費目	金額(円)	費目	金額(円)
総務部	1,760,682	環境部	210,000
部会費	20,000	部会費	20,000
役員会費	66,000	総会費	50,000
会議費	30,000	事業費	120,000
研修費	500,000	予備費	20,000
広報費	360,000	保健部	340,000
事業費	400,000	部会費	20,000
総会費	45,000	事業費	300,000
予備費	339,682	予備費	20,000
人権部	200,000	体育部	396,000
部会費	20,000	部会費	20,000
事業費	160,000	事業費	356,000
予備費	20,000	予備費	20,000
福祉部	2,230,000	事業費計	5,136,682
部会費	20,000		
行事費	2,190,000		
予備費	20,000		



明倫扁額(丸亀市資料館所蔵)

深いかわり 城北小と「明倫」の由来

城北コミュニティの名称「明倫の里 城北」の基となった「明倫」の解説を市文化協会長で御供所町在住の河野虎雄さんにお願ひした。

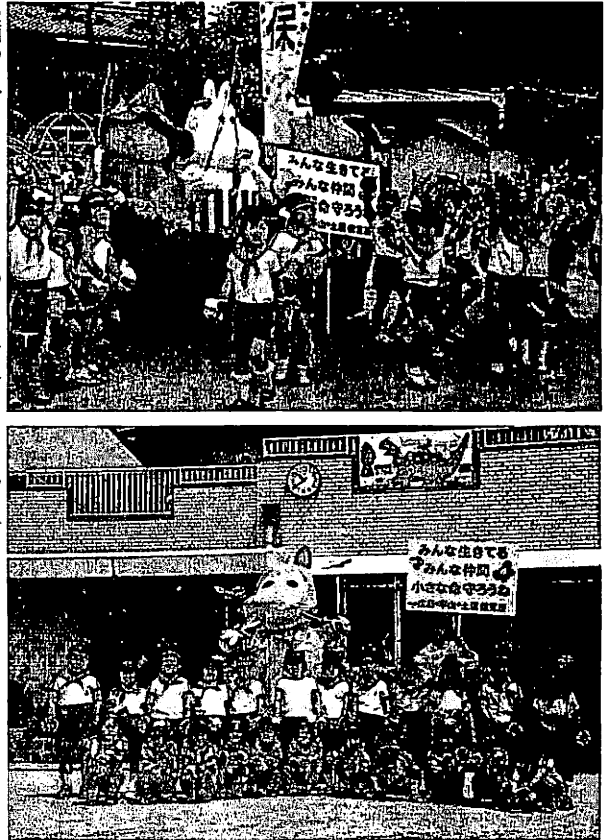
元文中(一七三六一一七四一年)に丸亀藩京極高矩(たかのり)は郭内南街に学校を建て、大いに学問を奨励

した。寛政六年(一七九四年)に高矩の子五代高中は学舎を大手街に移して規模を広げ、一般藩士に修学の機会を与えた。この学舎を「正明館」といい、寛政九年に高中は自筆の「明倫」の二字額を正明館に掲げて教学の振興を図った。

「明倫」を「明なる」ともがら」と読ませ、扁額はその後文化八年(一八一一年)六代藩主京極高朗が風袋町に学舎を創立して「敬止堂」と命名し(今の大西圭太郎氏宅)一般の子弟を就学させた。のち、正明館と敬止堂を合併して明倫館とし、明治五年にこれを廃して丸亀郷校を建てた。同年六月の学制発布と同時に第一小学校と改称、ついで亀湾小学校、丸亀小学校、丸亀尋常小学校、城北尋常小学校、城北国民学校となった。すなわち今の城北小学校である。

扁額は永く城北小学校の校長室に飾られていたが、市の文化財指定後は、市資料館で保管されている。扁額は写真に収め、今も校長室に飾っている。

まつり城パレードは幻に 土居・平山保育所



漫画のキャラクターをあしらった山車を前にハイノボース。平山保育所④と土居保育所⑤の子供たち

五月十六日のお城まつりの呼び物「まんでガンガン大行進」は雨のため多くの催しが中止。平山保育所、土居保育所が参加するチビッ子パレードも取り止めとなりました。保母さんや父兄は早くから山車の趣向を考えて準備、子供たちも踊りの練習を積んできただけに残念な気持ちでいっぱい。そこで、両保育所ご自慢の山車と子供の姿を写真で紹介いたします。

9月に城北小で総合防災訓練
平成十年年度総合防災訓練が九月二十七日午前九時から城

飼育活動で命の大切さを

土居保育所長・荒木泰子
土居保育所では、うさぎの「みみちゃん」の飼育を五歳児白組さんが中心になつてしています。毎年、白組さんの修了が近づくと、一歳下の青組さんも一緒に世話をし、そのやり方が引き継がれます。「これ食べてくれるかな」とえさをやり、うさぎが食



うさぎを世話する五歳児

学園の現場から

北小学校運動場で開かれます。避難訓練、地震時の対応講習、消火訓練、負傷者救助訓練などが行われます。

べると「あっ食べた食べた。うまそうに食べよる」と大喜び。うさぎを抱きながら「やさしくしたら、じつとするんな。小屋の掃除をしながら「きょうはようけ うんこやしっこしとるかな」「あーくさー」「やっぱりくさー」「そなんこと言うたら、みみちゃん、かわいそうやん」「みーんな おしっこやうんちするのにな」「そや、うさぎさんのお母さんになってあげるんな」と、うさぎとのかかわりを通して、生命の重み、大切さを感じ、相手のことを思う心も育つていくようです。
人格形成の基礎づくりの時期である幼児期に、自分の生命も、相手の生命も大切にすることをしっかりと、身につけさせたいと思っています。

催し案内 壮年体力テスト／親子環境探検隊／人権講演会

ご自分の体力、運動機能をチェックしませんか——壮年体力テストを七月十九日(日) 午前十時から城北小学校体育館で開きます。
城北地区の環境を広く知ってもらうために親子ふれあい環境探検隊を七月二十八日(火) 午前九時から催します。
城北地区の西北水路、丸亀城堀、亀寿園東水路などのほか満濃池などを巡り、環境教室を開きながら測定器具を使って水質調査、水生生物調査を行います。
城北地区の男女社会人を対象に筋力、瞬発力、敏捷性、柔軟性、持久力などのテストを行います。県スポーツ振興財団の先生が指導。運動靴を用意ください。(体育部会)

「私たちの同和問題週間」にちなんで次の通り講演会が開かれます。人権部会として同和問題について理解を深めていただくために、多くの人が参加いただければと考えています。なお、講師、講演内容は未定です。
七月三十一日(金)午後一時半から。市民会館大ホール (人権部会)

町並み昔と今

③



1966.6.6

(土) (居) (の) (セ) (ン) (タ) (ン)

ここは、労災病院へ向かう道と、土居橋（どいのもん橋とも呼んだ）

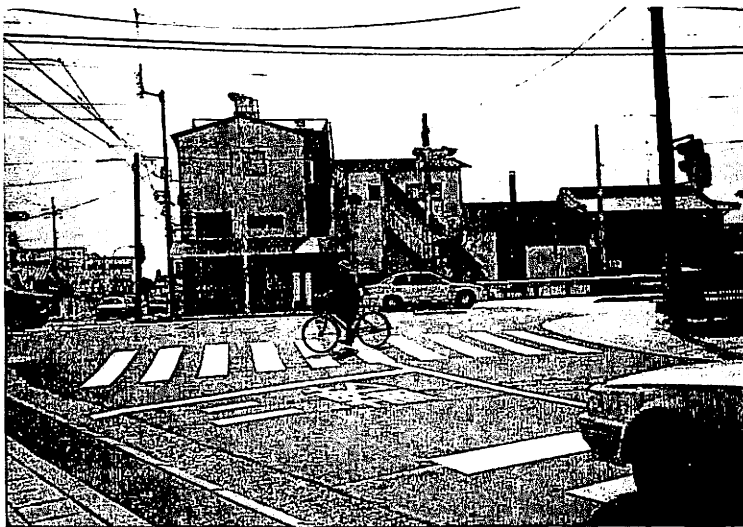
のある道と交差する地点に、どういう訳か、真ん中にこんな大きなセンダンの木が枝を広げていた。

右手の橋をどいのもん橋といった

のは昔、城郭内に入る東の入り口であったためだ。戦前は東西練兵場の境界であった。

この木は、夜、スクーターをぶつけて人が出たり、とにかく交通の妨げになるので切られた。このスケッチが昭和四十一年なので、四十六年ごろのことか。

（河野 智人）



絵・村上 泰郎

（丸亀市資料館所蔵）

市防犯協会

常包さん功労表彰

丸亀市防犯協会の総会が五月七日開かれ、席上、快適な街づくりの推進に功労があったとして、土居町、印刷業常包恒夫さんが片山会長（市長）から表彰を受けました。

総会では十年年度の事業計画として、夏季の少年非行防止活動や薬物乱用防止、暴力追放活動などの取り組みを決めました。

あとがき

コミュニティ組織「明倫の里 城北」が誕生しました。この地区が、より住みよい安心して暮らせる町、より楽しい人情豊かな町になるために、組織を十二分に生かしたいと願っています。

「ともしび」編集スタッフが新しくなりました。これまで総務部広報担当を中心に編集を続けてきましたが、今号から各専門部から一人ずつ、スタッフに加わりました。紙面へのご意見、ご希望、身近な話題などをお寄せください。

（山田）